

演奏者プロフィール

能登谷 安紀子 ヴァイオリン



ヴァイオリン、ピアノ、オルガン、声楽を学ぶ。幅広いレパートリーのヴァイオリン演奏に加え、ヴァイオリンの技巧を生かした曲や北海道の自然をテーマにした曲を作曲。

東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業。東京藝術大学大学院修了。東京藝術大学フィルハーモニアと共演。YBP国際音楽コンクール第2位。PMF（パシフィックミュージックフェスティバル）オーケストラ・アカデミー修了。横浜市栄区民文化センターリリス・レジデンス・アーティストとして多数の演奏活動を行う。北海道文化財団HAFアーティスト（ソリスト部門）に選ばれ道内各地でコンサートおよびアウトリーチを実施。ソロ、室内楽、オーケストラ演奏の他、弦楽アンサンブルや学生オーケストラの指導、合唱指導、アウトリーチ演奏、作曲活動等、札幌、東京、横浜を中心に各地で幅広い活動を行っている。

ファーストCD『能登谷安紀子 作品集 Akiko Notoya plays Akiko Notoya』好評発売中。

2年前から有島記念館で開催しているヴァイオリン・リサイタルが好評で、今回は3回目の演奏となる。

友清 祐子 ピアノ



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。ハンガリー政府給費留学生としてハンガリー国立リスト音楽院に留学し、3年間研鑽を積む。その間、ハンガリー春のフェスティバルでの演奏をはじめ、リスト音楽院小ホール、リスト記念館、バルトーク記念館等にて演奏会を開催。2001年夏、イタリア・シエナにてマウリツィオ・ポリーニ氏のセミナーに参加。東京藝術大学大学院修士課程修了時に、「バーゼンドルファージュointリサイタル」に出演。これまでに、新ブダペスト弦楽四重奏団と共演。

第42回・43回全日本学生音楽コンクール福岡大会第2位。第3回 WAKI PIANO コンクール、教育長賞受賞。第4回かやぶき音楽堂デュオコンクール(ヴァイオリンとピアノのためのデュオ部門)第1位。

これまでにピアノを徳万良子、植田克己、シャーンドル・ファルヴァイ、迫昭嘉の各氏に、室内楽をシャーンドル・デヴィチ氏に師事。

東京藝術大学音楽学部非常勤講師を経て、2014年4月より山口大学教育学部准教授。

有島記念館

〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島 57 番地

電話番号：0136-44-3245

観覧料：一般 500 円、高校生 100 円

開館時間：9：00～17：00(入館は 16：30 まで)

休館日：月曜日(5月～9月は無休)、年末年始

展示案内

「夕張市美術館コレクション展

炭都・夕張の美術遺産」

有島記念館特別展示室にて 9 月 7 日まで開催

常設展観覧料のみでご覧いただけます。